

平成27年度事業報告

第1 犯罪の予防及び防犯思想の普及啓発に関する総合防犯事業の推進

本年度も安全で安心な社会の実現に資するために、「自分の身は自分で守る」「自分たちの街は自分たちで守る」という自主防犯意識を地域社会に根付かせ、犯罪のない明るい社会の実現に資するために、次に掲げる各種総合防犯事業を推進した。

1 犯罪の予防、広報・啓発

(1) 各季地域安全運動の推進

警察や市町村、少年健全育成団体等の各種防犯関係機関・団体との連携により取組重点を定めた各季地域安全運動を行った。

ア 春の地域安全運動（4月中旬～5月上旬）

県警察と連携を図りながら、新学期や桜祭り等の各地区の行事等を勘案して10日間の運動期間を設定し、少年非行防止や各種盗難被害防止等の活動重点に沿った街頭補導や防犯パトロール等を展開した。

イ 明るいやまがた夏の安全県民運動（7月21日～8月20日）

山形県、県・市町村教育委員会、県警察本部、市町村、交通安全関係団体及び当連合会の共催で、県民運動として街頭犯罪抑止活動等を展開した。

※ 7月21日、出発式に会長等が参加。

ウ 全国地域安全運動（10月11日～10月20日）

警察本部、暴追センターと共催で、子ども女性の犯罪被害防止、侵入盗・車両盗や万引きの防止、振り込め詐欺被害防止を運動の重点として各市町村長へのメッセージの伝達や防犯パトロールなどの活動を幅広く展開した。

エ 年末地域安全運動（12月1日～12月31日）

年末における少年非行や振り込め詐欺等の防止を図るため、警察と協働によるパトロール等を展開した。

※ 12月17日、会長が名誉会長、警察本部長らとともに山形駅前において年末警戒ボランティアを激励。

(2) 広報・啓発活動の推進

各種犯罪被害を防止するために各種広報媒体を活用した広報・啓発活動を幅広く行った。

ア 地域防犯力を向上させる活動の推進

県内全域に広まった青パトによる防犯パトロール活動を充実させるため、着脱式青色回転灯と共に「パトロール中」のマグネット表示板を配布や青色防犯パトロールマニュアル「安全・安心青色パトロールガイドブック」の作成、全青パト車に対する配布の他、サウンドロゴ入り防犯広報用CDと同じ内容のラジオスポット広報を行い、防犯意識の浸透と街頭犯罪の抑止を図った。

また、町村防犯事務担当者研修会等により地域防犯リーダーの育成を図った。

イ ラジオ等活用の広報啓発

各季地域安全運動とリンクして、みんなで「声掛け・鍵掛け・心掛け」の

防犯サウンドロゴ入り防犯広報ラジオスポットCM（20秒）を計90回放送した。

ウ 機関誌「防犯やまがた」等の発行・配布

- ① 7月と11月に地域安全運動に連動させ機関誌「防犯やまがた」（第7号、第8号）を発行し、各地区、各市町村を通じて県内全世帯に回覧した。
また、「県防連だより」（第3号）を発行して防犯パト車（宝くじ号）等の活動紹介などを行った。
- ② 県防連ホームページによる防犯情報発信活動
県防連ホームページを活用し、総会資料等の情報公開、活動状況紹介等の情報発信活動を積極的に行った。
- ③ 全防連機関誌「安心な街に」（月刊誌）を各地区防等に毎月配布し、全国の活動事例などを紹介した。

エ ポスター、リーフレット、チラシ等の作成及び配布

No.	資 料 名	部 数
1	特殊詐欺防止用小冊子「詐欺に騙されない心得!!」	3,000部
2	薬物乱用防止小冊子「薬物乱用防止ガイドブック」	7,000部
3	健全育成ハンドブック「安全と遊びのルール」（小学生用）	12部
4	健全育成ハンドブック「あなたの明日のために」（中学生用）	60部
5	全国地域安全運動用チラシ	6,500部
6	闇スロ撲滅宣言ポスター	103枚
7	全国地域安全運動用ポスター	1,500枚
8	映画「人生の約束」と提携の年末年始の防犯ポスター	700枚
9	映画「さらばあぶない刑事」と提携の振り込め詐欺防止ポスター	650枚
10	映画「仮面ライダー1号」と提携の子ども犯罪被害防止ポスター	680枚
11	防犯広報用ポスター（防犯広報作品コンクール優秀作）	2,000枚
12	防犯カレンダー	200部
13	青パトマニュアル「安全・安心青色パトロールガイドブック」	2,000部

オ 報道機関・市町村広報紙・誌などを活用した広報

- ① 新聞社の防犯特集記事での広報
 - ・ “明るいやまがた、夏の安全県民運動（7月21日・山形新聞）
 - ・ 年末防犯紙上座談会（11月29日・山形新聞）
 - ・ 県民の警察官（1月22日・産経新聞）
- ② ラジオの防犯特集番組での広報
「地域で守ろう子どもたちの防犯対策」に出演（4月1日・FM山形）
- ③ その他
少年の主張大会、各季地域安全運動時等にラジオモンスター、各自治体の広報紙、地域ミニコミ紙等を活用して広報した。

(3) 防犯ボランティアへの活動支援

ア 防犯パトロール車（宝くじ号）の整備

10月に防犯パトロール車（宝くじ号）1台を山形市防犯協会に整備した。

イ 車載用着脱式青色回転灯の支援

6月から9月までの間、山形、天童、寒河江、最上、酒田、鶴岡、小国、高島、川西の9地区防犯協会に着脱式青色防犯灯（計25基）と「地域安全パトロール中」のマグネット表示板（計50枚）をセットで支援した。

ウ 防犯ボランティア保険料の斡旋・一部助成

4月から9月までの間、3,788名の防犯協会員等のボランティアに対して団体総合補償保険の保険料の一部助成（1人50円）を行った。

エ 視聴覚教材の整備・貸出し

① 3月に、3種類の防犯DVD（総合防犯対策の貸出用DVD、危険ドラッグ乱用防止DVD、子ども対象の犯罪被害防止対策用DVD）を新規整備するとともに、平成19年度以降整備した貸出用防犯DVD一覧表を各地区防・市町村に周知した。

② 地区防等6カ所（天童、寒河江、村山、鶴岡、酒田、米沢）の他、関係機関団体（警察本部の生活安全企画課、広報相談課、県教育事務所）等に12回貸し出して活用した。

(4) 表彰の実施

ア 県防犯功労者(団体)表彰

5月26日開催の定時総会において、

- ・ 名誉会長感謝状 2団体
- ・ 防犯功労者 24名
- ・ 優良防犯団体 5団体

を表彰した。（氏名や団体名は平成27年度定時総会会議資料に掲載。）

イ 東北防連功労者(団体)受賞

6月29日の東北防連総会時に、推薦した防犯功労者7名、防犯功労団体2団体が東北防連会長、東北管区警察局長の連名表彰を受賞した。

【受賞者】（敬称省略）

① 防犯功労者

松山清次（飯豊） 宍戸文雄（山形）
小松弘毅（天童） 大類忠（尾花沢）
阿部正（新庄） 加藤英男（酒田）
竹田千鶴子（米沢）

② 防犯功労団体

西川町防犯協会第一支部 代表 荒木多門（西川）
酒田市防犯協会連合会富士見防犯協会 代表 伊藤則義（酒田）

ウ 全防連防犯功労者(団体)等受賞

9月24日の全国地域安全運動中央大会で、防犯功労者では防犯栄誉金章1名、防犯栄誉銀章2名、防犯栄誉銅賞6名が、防犯功労団体では1団体が受賞した。

【受賞者】（敬称省略）

① 防犯栄誉金章 阿部五兵衛（新庄）

② 防犯栄誉銀章 鶴巻善範（庄内） 小松孝也（酒田）

③ 防犯栄誉銅賞 渡邊康正（中山） 細谷智章（山形）

星野弘一（村山） 阿部正（新庄）

後藤隆（酒田） 田村俊三（鶴岡）

④ 防犯功労団体

酒田市防犯協会連合会富士見防犯協会 代表 伊藤則義（酒田）

(5) 市町村防犯事務担当者研修会の開催

11月26日 山形県自治会館において、県内各市町村の防犯事務担当者を対象に、

県警察本部生活安全部参事官 江口 隆三

演題「県内の犯罪情勢と防犯対策推進上の留意事項」

山形県防犯設備協会事務局長 井上 喜男 以下2名

演題「各種防犯設備・機器の最新情報について」

を講師に迎え、具体的事例に基づく防犯講話や年々進化する防犯機器等の効果的活用方法などについて実演を交えた研修を行った。

(6) 暴力排除及び薬物乱用防止活動

ア 各種暴排運動等への協力

① 山形県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動への協賛（6/20～7/19）

② 県警察本部、（公財）県暴力追放運動推進センター、山形県覚せい剤追放協議会等の関係機関・団体と連携を図り、各種暴排活動・薬物乱用防止キャンペーン等各種防犯活動に協力した。（通年）

イ 広報・啓発

① 風俗営業管理者講習や自治体防犯事務担当者研修会等において各種暴排講話や資料配付等の広報・啓発活動を行った。（通年）

② 11月に薬物乱用防止用小冊子「薬物乱用防止ガイドブック」を各地区防や薬物乱用防止活動を推進する警察機関に配布して、幅広く活用してもらった。

2 青少年の非行防止、健全育成

(1) 「第54回山形県少年の主張大会」の開催と記録集の発行

9月26日、山形ビッグウイングにおいて県少年育成県民会議、山新、YBCと共催し、参加した県内各地区の代表15名の優秀者について表彰した。

また、県大会参加者や全国大会優秀者の発表要旨を記録集にして各学校や関係者に配布した。

【入賞者】（敬称省略）

○ 最優秀 1名 「みんなちがって みんないい」

天童市立第三中学校 1年 土門 一葉

○ 優秀 2名 「自分らしく」

村山市立楯岡中学校 3年 菅野 朋夏

「笑顔 届けます」

山形市立第十中学校 3年 佐藤 麗水

○ 優良 2名 「言葉の向こうの宝物」

寒河江市立陵南中学校 3年 佐藤 ナターリア

「私が次世代の語り手に」

山形大学附属中学校 3年 小野 結衣

(2) 「第26回防犯広報作品コンクール」の実施

9月29日山形県警察本部において、県内各地区から推薦された小・中・高生の防犯ポスター86点、防犯標語98点について審査会を行い、

・ 防犯ポスター 最優秀作品3点の他15点の優秀作品

・ 防犯標語 最優秀作品3点の他13点の優秀作品

の作成者を表彰し、最優秀作品で防犯ポスターを作成、配布した。

※ 応募総数 ポスター 2, 293点 標語 4, 362点

【ポスター受賞者】(敬称省略)

○ 小学生の部

最優秀 酒田市立亀ヶ崎小学校4年 齋藤暖太
(テーマ 地域防犯)

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点、佳作1点

○ 中学生の部

最優秀 高島町立第四中学校2年 高橋優奈
(テーマ いじめ防止)

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点、佳作1点

○ 高校生の部

最優秀 山形県立米沢工業高校2年 漆山綾真
(テーマ 薬物乱用防止)

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点、佳作1点

【標語受賞者】(敬称省略)

○ 小学生の部

最優秀 「あいさつが ぼくらのまちの ぼうはんだ」
村山市立大久保小学校2年 仲嶋琉衣

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点

○ 中学生の部

最優秀 「声かけて 広がる安心 地域の輪」
白鷹町立白鷹中学校3年 阿部理乃

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点、佳作1点

○ 高校生の部

最優秀 「つながろう ネットじゃなくて 人の和で」
山形県立新庄神室産業高等学校2年 廣野史也

※ 他の受賞作品 優秀2点、優良2点

(3) 健全育成少年柔道・剣道大会の後援

ア 第37回山形県少年剣道錬成大会を後援(5月24日)

当会会長杯(優勝カップ)と会長賞(メダル)授与

【優勝】 団体小学生の部 鈴川道場(山形地区)

団体中学生の部 登龍館(山形地区)

※ 会長、事務局長が出席

イ 第15回山形県少年健全育成柔道大会を後援(6月6日)

学年別、体重別の優勝者8名と成績優秀者に会長賞(メダル)を授与

※ 会長、事務局長が出席

ウ 第34回山形県少年柔道大会を後援(2月27日)

当会会長杯(優勝・準優勝カップ)と会長賞(メダル)を授与

【優勝】 丹野道場スポーツ少年団(最上地区)

【準優勝】 高橋道場(山形地区)

※ 会長、事務局長が出席

(4) その他

各種少年健全育成事業に協賛した。

「いじめ・非行をなくそう」山形県民運動(H27.4.1~H28.3.31)共催

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動（H27.4.1～H28.3.31）共催
「子どもの『いのち』を守る強化月間」（6月）協賛
「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（7月）協賛
「子ども・若者育成支援強調月間」（11月）協賛
「春のあんしんネット・新学期一斉行動」協力

3 自転車防犯登録

(1) 自転車防犯登録カードの入力

登録店(自転車販売店)から送付された防犯登録カードの内容をチェックして約40,000件のデータ入力、防犯登録を行った。

(2) 自転車防犯登録の広報・啓発活動

「防犯やまがた」「ホームページ」で自転車盗難防止、自転車防犯登録等について広報・啓発活動を行った。

第2 善良な風俗環境等に関する事業の推進

1 風俗営業所管理者講習の実施

県内の風俗営業所管理者（209名）を対象に、6月から11月までの間、県内8会場において9回の風俗営業管理者講習を行った。

2 風俗営業所の構造・設備等調査の実施

平成27年4月から平成28年2月までの間、風俗営業の許可申請及び変更承認申請のあった営業所（26カ所）の構造・設備等の調査を行った。

3 その他

ネット化やデジタル化が進む社会等の犯罪防止用防犯DVD「防犯対策 犯罪から身を守る！」や危険ドラッグ乱用防止用防犯DVD「未来ー危険ドラッグSNSの罠ー」等の視聴覚教材（貸出用DVD）を新規整備し、社会風俗環境浄化に役立てた。

第3 遊技業の健全化事業及び防犯資機材の斡旋事業の推進

1 遊技業の健全化

(1) 立入り等による不正防止活動の実施

平成27年4月から平成28年3月まで山形県遊技業協同組合や山形県遊技業防犯協力会と協働して県内全てのパチンコ店、パチスロ店を対象に93カ所に立入検査を実施し、防犯意識の高揚と不正防止を図り、遊技業業界における適正営業を確保した。

(2) 不正防止広報活動

闇スロ撲滅宣言ポスターを各地区防を通じて配布した。

2 防犯資機材の斡旋

防犯ボランティア活動で使用する着脱式青色回転灯、防犯帽子、腕章、懸垂幕等の防犯資機材の斡旋を行った。

第4 その他

1 会議、研修会の開催、出席

各種会議や研修会等を通じ、情報交換、交流促進を図った。

(1) 県防連

- ア 年度当初の理事会 (4月23日)
- イ 定時総会 (5月26日)
- ウ みなし理事会(賛助会員新規加入) (12月1日提案)
- エ 年度末理事会 (3月25日)

(2) 全防連・東北防連

- ア 全防連
 - ① 全国地域安全運動中央大会 (9月24日)
 - ② 専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営者会議 (11月18日)
- イ 東北防連
 - 東北防犯連絡協議会総会 (6月29日)

(3) その他

関係団体の会議等出席(21回)

[5月]

山形県鉄道防犯連絡協議会連合会総会(5/25専務)、山形県電気活用協議会幹事会(5/11局長)、山形県青少年育成県民会議理事会(5/19専務)、社会を明るくする運動県推進委員会(5/20専務)、文化財保護指導委員会会議(5/22専務)

[6月]

山形県青少年育成県民会議総会(6/1専務)、覚せい剤追放協議会(6/3専務)、明るいやまがた夏の安全県民運動推進会議(6/8専務)、山形県電気活用協議会総会(6/8局長)、山形県遊技業協同組合総会(6/18会長)、山形県防犯設備協会総会(6/23専務)、

[7月]

山形県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議(7/16専務)、山形県金融機関防犯対策協議会総会(7/22専務)、

[9月]

山形県暴力追放県民大会(9/7専務)、山形県民の警察官選考委員会(9/16会長)、特殊詐欺緊急対策会議(9/28局長)

[10月]

米沢・川西青パトネットワーク合同出発式(10/15会長)

[12月]

青少年のための環境作り懇談会(12/4専務)、産経新聞県民の警察官選考委員会(12/4会長)

[2月]

山形県遊技業協同組合新年会(2/2専務)、山形県自転車防犯登録協会通常総代会(2/23局長)

2 関連事業への参加・協力

「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の撲滅に向けた取組強化」(10月)協力等関係機関・団体が行う事業等で、当会の目的を達成するために必要なものについて積極的に参加・協力した。

3 その他

(1) 組織基盤の強化

引き続き、組織基盤の強化を図るための実質的な活動を推進する。

ア 姿の見える活動の推進

ホームページや各市町村とのメール通信網を活用し、情報公開や情報発信活動を積極的に行った。

イ 各地区防等との関係強化

各地区防の行事等に会長が講師として招かれ、積極的に顔を出した他、「防犯だより」や「おつかれさまです！」等で各地区防の活動紹介するなど各地区防等との横の関係強化を図った。

ウ 賛助会員の拡大等による財政基盤の確立

年間を通じた賛助会員拡大活動を積極的に行い、会員と会費の減少を抑えた。

(2) 公益法人に係る年次報告等

ア 公益社団法人認定等に関する法律第22条第1項の規定による平成26年度の事業報告。(6月)

イ 山形県公益認定等審議会の立入検査を受検。(6月)

ウ 公益社団法人認定等に関する法律第22条第1項の規定による平成28年度事業計画等の報告。(3月末)

(3) 装備資機材の整備

12月に故障して起動しなくなったプリンター1台(25,920円)を減価償却積立金で購入した。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、事業報告書の付属明細書は作成しない。

平成28年4月26日

公益社団法人山形県防犯協会連合会